マラナタキリスト大学の

日本語学習者に提案表現の使い方の誤答分析

序論

野村（１９２２：１８０）のとおりに 表現 というのは心の中で考えたりしたことを、 なんらかの手段によって外に表すこと。どのような手段を使うかによって、身体表現、言語表現、音楽表現、絵画表現などに分類される。インドネシアの日本語学習者にとって、日本語の表現はなかなか難しいことである。

色々な日本語表現のなかに筆者は提案表現をこの論文の話題にした。それは提案表現の中に独特のニュアンスがあるからである。その理由の上で筆者はインドネシアにいる日本語学習者、主にマラナタ大学の学習者にはこの提案表現のニュアンスがわかるかわからないかと知りたくなっている。

友松（ ２０００：８５）のとおりに提案表現は４つの形を持って、それは「～たほうがいい」、「～ばいい」、「～たらいい」、と「～といい」の形です。その４つの形は別々の意味を用いられる。この研究のために、筆者は４０人のマラナタ大学の日本語学習者の三年生以上に提案表現について問題を調査した。大学生たちの答えは対照言語分析のウイークハイパスイスイスと誤答分析で研究した。

本論

この研究は３つの頭部に中心していることは即ち文法的の誤答、意味的の誤答、と使い方の誤答である。文法にある間違いことは一段動詞や変格動詞などの活用する言葉に起こりました。例え：

- 「食べれば」の形は「*食べば*」になり、
- 「なれば」の形は「*ならば*」になり、
- 「したら」の形は「*しったら*」、「*すったら*」になり、
- 「すれば」の形は「*しれば*」になること。

あるいは提案表現に動詞をつながったときに、このような誤りも見つかった。例え：

- 「するといい」の形は「*しといい*」になり、
- 「食べたらいい」の形は「*食べら*」になり、
- 「使ったらいい」の形は「*つかったいい*」になり、
- 「見たらいい」の形は「*見たらがいい*」になり、
- 「使ったほうがいい」の形は「 *使ってほうがいい*」になり、
- 「食べたらいい」の形は「*食べなかったらほうがいい*」になること。

意味についての誤りには例えば「〜たほうがいい」の形は命令表現に誤解された文もあります。

- 健康がまもたら、野菜を<u>たべろ</u>！

動詞を使うことに間違ったこともある。

- 「習う」場合は「*練習する*」、「*勉強する*」をよく使うこと、
- 「使う」場合は「*見る*」、「*調べる*」、「*探す*」、「*並べる*」をよく使うこと。

文法が間違ったから、意味も不思議になってしまった文もあります。

学習者はあげた問題の目的を誤解した。提案表現の「～たほうがいい」、「～ばいい」、「～たらいい」、と「～といい」の形はどんな時に使うかまだわかりません。

結論

この調査の結果を文法的に見れば、意味的の場合は３７％ぐらいである。最少の誤答は文法のほうで、２5%にたつ。その以外は使い方のほうです。即ち７５％にたちます。そのとおりに文法の教授は成功したと言われる。しかし表現については不足です。

インドネシアの学習者にとって一番困難になるのは表現である。ですから、日本語の表現教授は学習者にもっと知らせて、そうしたら将来の日本の社会の中で色々な表現をよく使えるようになる。この研究は日本語学習者に知識を得られて、インドネシアにある日本語教育が進歩できるように望んでいることです。

DAFTAR ISI

PRAKATA………………………………………………………………………… iii

DAFTAR ISI……………………………………………………………………. vi

DAFTAR TABEL……………………………………………………………. viii

DAFTAR LAMPIRAN………………………………………………………. ix

BAB I PENDAHULUAN

1.1 Latar Belakang...…………………………………………………… 1

1.2 Rumusan Masalah...………………………………………………... 7

1.3 Tujuan Penelitian…………………………………………………… 7

1.4 Metode Penelitian dan Teknik Kajian

1.4.1 Metode penelitian…………………………………………... 8

1.4.2 Teknik penelitian…………………………………………..... 8

1.5 Organisai Penulisan Skripsi……………………………………… 9

BAB II KAJIAN TEORI

2.1 Struktur Bahasa

2.1.1 Sintaksis.…………………………………………………... 10

2.1.2 Morfologi.…………………………………………………. 11

2.2 Analisis Bahasa

2.2.1 Analisis Kontrastif…………………………...……….. 14

2.2.2 Analisis Kesalahan ………………..……………...………... 15

2.3 Kedudukan 提案表現…………………………………………….... 18

2.4 Ekspresi Saran dalam Bahasa Jepang (提案表現) ……………..... 22

2.4.1 ～ほうがいい…………...…………...…………..………. 23

2.4.2 ～ばいい………………...…………...…………..………. 24

2.4.3 ～たらいい……………...…………...…………..………. 25

2.4.4 ～といい………………...…………...…………..………. 26

BAB III ANALISIS DATA

3.1 Kesalahan Penggunaan Struktur...…………...…………...………. 31

3.2 Kesalahan Pemaknaan…………...…………...…………..………. 37

3.3 Kesalahan Penggunaan...………...…………...…………..………. 49

BAB IV KESIMPULAN

4.1 Kesimpulan……….…………...…………...…………..………. 61

DAFTAR PUSTAKA..……………………………………………………… 64

LAMPIRAN.. x

SINOPSIS...………………………………………………………………. xx

RIWAYAT HIDUP……………………………………………………... xxiii

DAFTAR TABEL

TABEL A KESALAHAN PENGGUNAAN 提案表現 51

PADA SOAL ANGKET NOMOR 1

B KESALAHAN PENGGUNAAN 提案表現 53

PADA SOAL ANGKET NOMOR 2

C KESALAHAN PENGGUNAAN 提案表現 55

PADA SOAL ANGKET NOMOR 3

D KESALAHAN PENGGUNAAN 提案表現 57

PADA SOAL ANGKET NOMOR 4

E KESALAHAN PENGGUNAAN 提案表現 59

PADA SOAL ANGKET NOMOR 5

F RANGKUMAN HASIL ANALISIS KESALAHAN 59

G KESIMPULAN ANALISIS KESALAHAN 提案表現 61

DAFTAR LAMPIRAN

LAMPIRAN	A	ANGKET ANALISIS PENGGUNAAN UNGKAPAN *EKSPRESI SARAN*（提案表現）(ていあんひょうげん)	xii
	B	TABULASI	xiv